

啓正会 通信

KEISEIKAI MAGAZINE

医療法人 啓正会 清水病院 広報誌
【ご自由にお取りください】

2024年
Vol, 47

冬号

ALWAYS TOGETHER いつもいっしょ



▼目次

- ・新年のあいさつ …P.2
- ・委員会だより …P.4
- ・誤嚥性肺炎を防ごう…P.5
- ・はたらく人の1日シリーズ★4～受付の1日～ …P.6
- ・もっと知りたい探検隊/とぎつふれあい産業まつり…P.7
- ・健康教室/編集後記…P.8

当たり前の1日も、楽しくてたまらない1日もつくってる。

介護って、クリエイティブ。

◀長崎新聞主催「枠を超える新聞広告賞」、公募にて啓正会の課題をテーマにデザイン頂いた作品が審査委員賞を受賞しました。

医療と福祉の
啓正会

理念

Cool life together めざせ110歳

基本方針

高齢者のみなさま方の社会復帰とノーマライゼーション（他の人々と同じように生活し、活動することができること）を目指します。高齢者のみなさま方が、クール（すずやか）な人生を送ることができるよう医療と介護のシームレス（継ぎ目のない）な連携を行いながら、社会へ貢献します。



A HAPPY NEW YEAR

新年明けましておめでとうございます

昨年は格別のご愛顧賜り心よりお礼申し上げます。今年も皆様のご期待に応えてより一層業務に努めて参ります。

当法人では今年度4つの目標を掲げています。1つ目、そして2つ目の「健康長寿日本一」と「楽しみ時間の支援」は、コロナ感染ウイルスが5類になったこともあり、各個人、各事業所で活動の幅が広がり、スタッフの頑張りや、ご家族や地域の協力もあり、みなさんの笑顔がコロナ前よりも増えているように思います。3つ目の「金融リテラシーの向上」につ



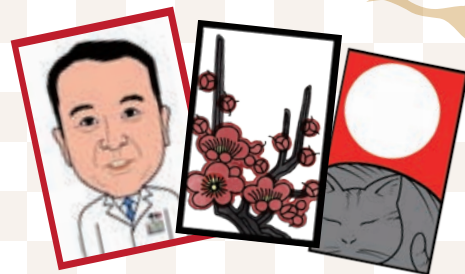
いては、まだ具体的な活動はできていませんが、今年は少し目に見えた活動にしていき、長崎県の若者が安心して暮らせる街と思われるように我々も知識の向上を目指していきたいと思います。4つ目の「医療福祉従事者の地位向上」については、法人の目標でもあり、私個人の最大の目標でもあります。コロナ禍、必死に最前線で戦った医療や福祉の現場で働いたスタッフには感謝しかありません。そのような方たちが報われなければ、今後の医療福祉は成り立たず、高齢者や子供が安心して暮らせる街づくりにはつながりません。



そのためにも「医療福祉従事者の地位向上」を目標に掲げ、様々な場所でそれを訴え続けました。もちろん一人で訴えて通じるものではないので、たくさんの方に協力してもらいながらです。活動の一環として、昨年末には麻生太郎副総裁が会長として開催した地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟に参加することができました、麻生副総裁より直接、「介護施設・事業所は高齢化が進む中で、地域の介護と福祉を支

える重要な存在である」というお言葉を貰い、その後、麻生会長より厚生労働大臣宛に申し入れもしていただきました。今後、どのような形でどれだけ反映されるかは分かりませんが、目標として掲げていた「医療福祉従事者の地位向上」に少し貢献できたのではないかと思います。他産業から大変なのは医療や福祉だけではないとの言葉が聞こえてきますが、昨今はケアラー特にヤングケアラーについての問題が取りざたされています。医療や福祉の充実ケアラー問題の解決に不可欠であり、ケアラーが増えることは他産業を脅かす問題でもあるので、医療福祉充実のために今後も「医療福祉従事者の地位向上」は訴え続けたいと思います。前置きが長くなりましたが、我々、啓正会は皆さんが笑顔になれるように邁進していきます。利用者、ご家族、地域の方々、そしてスタッフの皆さん、今年もどうぞよろしくお願ひします。——— 啓正会 理事長 清水啓宗

謹賀新年



令和6年 年初挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大から丸4年が経過し、ウィズ・コロナもすでに5年目か…それでも昨年5月からは感染症法上の位置付けがインフルエンザと同じ5類に移行しました。病院・高齢者施設では引き続きマスク着用が推奨されますが、移動制限なし、法人忘年会も復活したし、日常生活ではマスクなしでも周囲の目を以前より気にしなくてもよくなり、随分と生活しやすくなりました。

数年ぶりにface to face でみんなが集まれるのは喜ばしいことです。個人的な意見ではありますが、酒を酌み交わしながらのコミュニケーションの場は改めてみんなを活気づかせ、元気を出させるものと思います(但し、飲みすぎ、酔いすぎには注意)。

昨年から世界ではウクライナ・ロシア戦争に加えてイスラエル・パレスチナ戦争、アフリカ・スーダンでの武力衝突と不穏な情勢がつづいています。国内ではジャニーズ問題、出産数減少、少子化の加速、株価は比較的上昇しているとはいえ円安、物価高騰など日本の国力衰退、地位低下が懸念されます。

一方で明るいキーワードもありました。大谷選手 MVP、日本人初の本塁打王、WBC で日本優勝、井上尚哉 スーパーバンタム級に階級上げて KO 勝利で新チャンピオン、将棋の藤井八冠など、まだまだ捨てたものじゃないと前向きに思いましょう。

当法人の医療・介護を担うスタッフ確保にはずっと苦勞している中、余裕があるとは言えない人員で職員のみなさんには頑張っていたいただいており、深く感謝しております。

これから医療でもデジタル化や生成 AI の活用の加速が進んで社会面では便利になるでしょうが、我々にとって効率が良くなるとは一概には言えないかもしれません。いずれにしろ高齢者の方を支えるのは心ある人間でしかありえません。

皆様にはこれからも高齢者社会を支える地域の重要な担い手としてますますの活躍を期待いたします。新しい年は辰年です。本年が職員・入所者の皆様にとって上へ上へと昇る龍のように運氣も上昇し、楽しく明るく実り多き1年でありますよう、お祈り申し上げます。



清水病院 院長 山崎直哉



感染症対策委員会

委員会だより

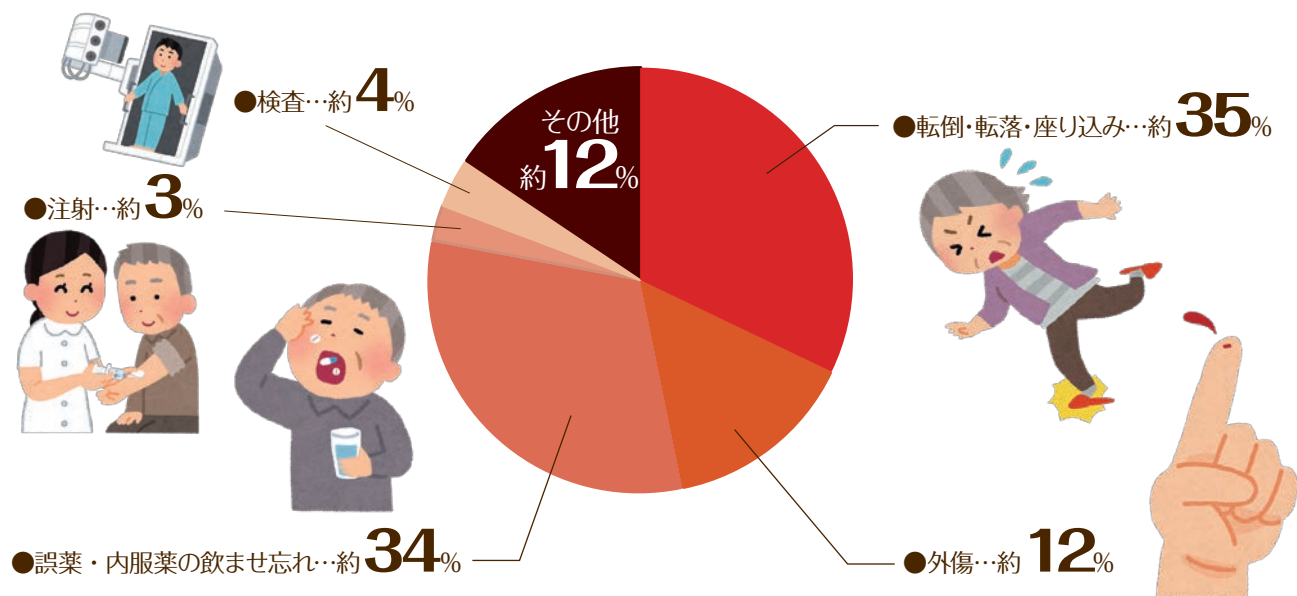
ヒューマンエラーってなに？

Human Error：果たすべきことが果たせなかった事態のこと＝人が犯す失敗のこと。つまり、複数の要因が重なった時に事故は発生します。その多くは人間の勘違い・思い込みによるものとされ、人が犯す失敗には「エラー」と「ルール違反」があります。

- エラー**：うっかり間違いや意図せず生じたエラーのこと
- ルール違反**：意図的に果たされなかった事態（意図したエラー）、手続き上の規定（ルール）から故意に逸脱すること。

人間は年齢や体力、記憶容量など自分の意志では考えにくい要素をたくさん持っています。ヒューマンエラーを少なくするには変えられない条件を持つ人間が業務を行う中で、いかに事故に繋がらないようにルールを作ることや環境の整備をすること、スタッフの教育を行うことが重要です。私たち病院スタッフは安全な医療・介護の提供により質の向上を目指しています。

事故報告件数(令和5年1月～6月)



医療安全対策委員会では毎月「事故報告書」の集計と分析を行い再発防止に務めています。令和5年1月～6月までの半年間での報告件数はの割合を円グラフにしてみました。

転倒・転落・座り込みが約 35%で、次いで薬剤関連として誤薬・内服薬の飲ませ忘れ不明薬剤などが約 34%でした。外傷が 12%、注射が 3%、検査が 4%、その他が約 12%でした。

高齢者や認知症の患者様が多く転倒に対する外傷予防策や誤薬や薬の飲ませ忘れに対する援助が必要です。今後も再発予防を検討し事故報告が減少していくように活動してまいります。

清水病院 医療安全対策委員 橋元加代子

誤嚥性肺炎を防ごう!

Prevent aspiration pneumonia

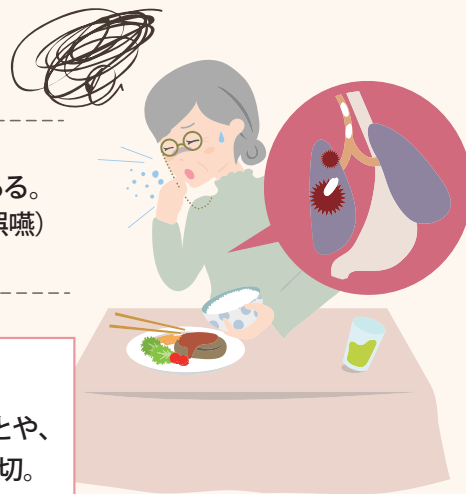


案外知らない? 誤嚥性肺炎とは?

唾液や飲食物が誤って器官に入り、細菌が肺に侵入し炎症を起こしたもの。

〈特徴〉

- ・嚥下機能が低下した高齢者に多い、再発を繰り返し死亡につながる危険性がある。
- ・食事の食べ物の誤嚥ではなく、食事中以外の唾液の誤嚥(特に就寝時の唾液誤嚥)が原因として多い。



POINT

※誤嚥をしても必ず誤嚥性肺炎を発症するわけではない!

細菌を誤嚥した際に侵入してきた細菌に負けない免疫機能を日頃から保つことや、細菌を外部へ排出する機能である咳嗽力(咳をする力)を維持することが大切。

高齢者に多い
危険な病気!

誤嚥性肺炎にならないために...



- ① 口腔ケア (口腔を清潔に保ち、口の中細菌を減らすことが、誤嚥性肺炎の予防に有効)
- ② 呼吸練習 (しっかりとした呼吸能力は誤嚥をしてしまった時の「咳として出す」力に繋がる!)

① 腹式呼吸 ▶ 効能: 全身のリラクゼーション、横隔膜など呼吸筋の強化、肩回りと呼吸筋のリラクゼーション

① ゆっくりと息を吐き切る。



② 鼻からゆっくりと吸う。



※もしも分かりづらい場合はお腹に手を置いて膨らんでくるのを手で感じながら行うことをお勧めします。

③ 再びゆっくりと息を吐く



② 口すぼめ呼吸 ▶ 効能: 横隔膜など呼吸筋の強化



まずは、ゆっくりと息を吐き切ります。
鼻からゆっくり吸ってください。
そして吐くときはろうそくの火を消すようなイメージで口をすぼめて吐いて下さい。

この時もゆっくりと吸うときの2倍くらいの時間をかけて行ってください。

参考資料:
家族でできる「言葉と飲み込み」リハビリ全集
清水病院 言語聴覚士 吾妻彩香

はたらく人の1日シリーズ★4

受付は患者様やご家族、業者の方など、様々な方がみられる病院の顔ともいえる場所です。元気な挨拶と笑顔での対応を心掛けています。コロナの分類が代わり入院患者様の面会も患者様の状態にもよりますが、緩和されてきました。1階で面会される際には患者様ご家族ともににこやかに楽しそうな姿が見られるようになり、こちらまで幸せな気持ちをいただいています。

清水病院受付のある1日流れ

◆8:30

【業務開始】

- ①清掃・消毒・ゴミ捨て
- ②外来診察 PC 登録
カルテ出し
- ③外来患者様 検温・消毒



◆9:15

- ④カルテ計算
- ⑤支払い対応



◆12:00

休憩タイム

◆13:00

午後業務開始

- ⑥受付内消毒
- ⑦職員健診、検尿カップ準備・案内
(退院患者様の病棟連絡)

◆14:30

- ⑧面会ご家族様の対応
検温・チェックシート準備
病棟へ連絡



◆15:15

- ⑨会計処理 (病名入力)

◆16:00

- ⑩使用備品の確認・補充
翌日の業務確認

◆17:30

1日、お疲れ様でした。

POINT



- ②外来受付伝票を診察室へ持っていきます。

- ③声掛けをしたり、転倒されないように気を付けて対応します。



- ⑤領収書を準備し、お金を扱ので釣り銭の間違いないように充分に気をつけています。

黙食実行中



- ⑥カウンター、電話はもちろんですがご家族がお使いになるボールペンなど小物の消毒もしています。

- ⑧同じ時間帯のご家族を対応する際、お待たせしないよう心掛けています。



清水病院 事務所受付

●時津東小学校 2年生

もっと知りたい探検隊



——— 清水病院への見学! ———

時津東小学校 2年生の児童たちが
「もっと知りたい探検隊」として清水病院の見学に来てくれました

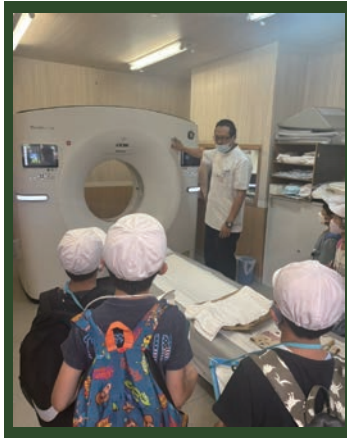
地域の人々との関わりを通して学校の周りの様子を知り、自分たちの住む地区に愛着を持てるようになることを目的として、他にも飲食店やお寺等色んなところへ見学に行くとのこと。当院ではスタッフステーションやリハビリ室、薬局、MRI・CT室を見学してもらいました。当初は緊張した面持ちの児童たちでしたが次第に緊張もほぐれ、分包機での作業やMRI・CTに釘付けになったり一生懸命質問しメモを取ったりと興味津々な様子が伺えました。中には大人顔負けの鋭い質問をする児童も。この体験をきっかけに病院に興味を持ってきて、将来当院で働いてくれないかなあ…(*´艸`)と淡い期待を抱き小さな背中を見送った私たちでした。

地域医療福祉連携室 林田友姫

▼リハビリ室を見学する様子



▼CT室を見学する様子



▶院内薬局を見学する様子



とぎつふれあい産業まつり

——— イベントに参加! ———



▲クイズの様子

▼歩行器体験中



▼○クイズの様子



11月、時津町で行われた『とぎつふれあい産業まつり』に参加しました♪場所はイオン時津店イベントブースをお借りして、子どもたちに認知症に関するクイズを出題したり、車椅子を使って介護の体験をしてもらったりして、子どもたちに少しでも福祉を知るキッカケとなってもらえたらと企画し参加させて頂きました。

子どもたちは興味津々でクイズに挑戦し、正解するたびに『イエーイ!!』と楽しんでくれていたのが印象的でした。反射神経を鍛える為の光るボタンの早押しゲームではバスケットの観戦チケットがもらえるとの事で、真剣な眼差しで挑戦していました。また、車椅子を使った介護体験では、親子で一緒に参加して、共に学ぶ時間を過ごして頂けて、本当に良かったと思います。1時間程度の短い時間でしたが、約50名の子どもたちに参加して頂き、笑顔と楽しい雰囲気が会場に溢れ、私たち職員も楽しくサポートすることができ、心地良い達成感を味わうことができました!!

時津町役場の関係者の皆様と地域の皆さんの温かいご支援とご参加があったからこそ、このような素晴らしいイベント企画を開催することができたのだと心から感謝します。ありがとうございました。

啓正会 企画課 中村周平

第28回健康教室を開催しました!

健康教室の様子



令和5年12月6日(水) 浜田4地区公民館にて第28回健康教室を開催しました。今回は「健康体操で生き生きとした毎日を!」と題し、当院のライフサポートトレーナーが講師となり健康体操を行いました。

椅子に座ってできる上半身を使った簡単な運動をメインに、棒を使用する運動や下半身を鍛える運動などバラエティーに富んだ内容で、地域住民の方々も一緒に運動していただきました。体を動かすことに興味のある方が多く「難しいね」「こうやったらできるよ」などといろいろ考えながらも積極的に参加していただき、盛り上げ上手なトレーナーの声掛けも相まって終始笑顔の絶えない健康教室となりました。



私も少し一緒に動いてみましたが、踵を上げる運動の時に足がつりそうになったのはここだけの話です(笑) 今後も地域住民の皆様の健康増進や介護予防の手助けとなれるように努めていきたいと思っております。参加してくださった地域住民の皆様、どうもありがとうございました。 地域医療福祉連携室 林田 友姫

編集後記

いきなりですが、私は今年清水病院に入職して16年目を迎えます。ピチピチ(死語)な新入社員だったはずが今やお局扱い…笑 時の流れは残酷なものです。当院は患者様のほとんどが高齢者で、認知症の方も多いためです。医療ソーシャルワーカーという相談業務を主としている性質上、日々のお世話をするわけではないこともあり、患者様に顔や名前を覚えてもらえないこともしばしば…。重要なことは家族とお話することが当たり前になっていました。そんな中でも、昨年は退院後にお手紙や電話をもらったり、お世話になったからとみかんをおすそ分けしてくれたり、と患者様本人から直接感謝の言葉をいただくことが多かったように思います。これが本来の医療ソーシャルワーカーの姿のはずだけど、最近は忘れていたかも…と考えてしまいました。今年の目標は「初心忘れるべからず」!!就職した頃の気持ちを思い出し、より患者様に寄り添う支援をしていきたいです。今年も啓正会通信をよろしくお願いたします。(広報委員: Y.H)



〈表紙について〉
ただのロッカーの写真ですが、中の衣装からイベントでお年寄りを楽しませている姿が目に見え、介護職は実は、クリエイティブな仕事だと謳っています。

〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷572

TEL:095-882-1225 / FAX:095-882-1716

各SNS更新中!要チェック!

医療法人 啓正会
清水病院